

## 令和2年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第2回）議事要旨

1 日 時 令和2年7月15日（水）9：25～12：00

2 場 所 新見市役所本庁舎 3階第4委員会室

### 3 出席者

(1) 評価委員会 岡崎委員長、中西委員、田中委員

(2) 大 学 田枝事務局長、斎藤学生部長、石橋事務局次長、眞治主査

(2) 事 務 局 小林特別参与、難波参事、羽場主任

### 4 議 事

#### (1) 第2期中期目標期間に係る事業報告の説明について

「第2期中期目標期間に係る事業報告書」に基づき、公立大学からの説明を受けた。

#### (2) 令和元年度事業報告及び第2期中期目標期間に係る事業の評価について

令和元年度事業報告に関し、第1回評価委員会における新見公立大学からの説明に基づき、各委員が評価を行った。

次回評価委員会では、引き続き令和元年度事業及び第2期中期目標期間に係る事業の評価を行うこととなった。

詳細は、以下のとおり。

発言（○委員、●大学）要旨	取りまとめ結果 及び 発言（●大学、◎市）要旨
<p>[項目別評価]</p> <p>I. 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育</p> <p>1) 教育の内容</p> <p>○新見公立大学の全国的な認識度はどの程度か。全国から受験生は来ているのか。</p>	<p>●短期大学には福井県から西の地域からが多かった。特に岡山県近県の兵庫県、島根県、愛媛県からの受験生が多く、岡山県からの受験生は少なかった。しかし、4年制大学になると、岡山県の大学という認識が強くなり、岡山県内からの受験生が一番多くなった。岡山県近県からの受験生は少なくなり、受験生の出身エリアが狭くなった。</p> <p>2年前から授業の開始時間を遅らせたことにより、県南から電車通学しやすくなっている。</p>

<p>○平成28年度の助産師国家試験合格率について33.3%と低い、3人中1人が合格したということか。</p> <p>○岡山県の大学として認められた。良い傾向か。</p> <p>○看護師国家試験の合格率が高いが、他と比べてどうか。</p>	<p>●外部から見ると、新見公立大学は交通アクセスの便が良い。</p> <p>●受験者6人中2人の合格だった。合格率が低かった理由は、助産学専攻科内の教員のチームワークが悪く、これが学生に影響した。今は改善されている。</p> <p>●入学者選抜方法に県内枠を設けている。広報する必要があると考えている。</p> <p>●看護師国家試験合格率の全国平均は90%程度、教育をしっかりとしている大学でも合格率の平均は95%程度だ。</p> <p>●学生の心身の体調が万全であれば、合格率が100%となるような体制を作っている。看護学科の教員は学生に対し、細やかな支援を行っている。</p> <p>●学生が集中して勉強できる環境を整備している。図書館建設時に不要だと考えられていた1階の自習室が、国試前などはフルに利用されている。</p>
<p>2) 教育の実施体制</p> <p>○大学の自己評価が3点だが、基準は何か。何が足りないのか。</p>	<p>●年度計画の評定基準では、計画通り達成できた場合は3点、計画を上回って達成できた場合は4点となっている。令和元年度においては計画通り達成できたため3点とした。</p> <p>●もともとの計画目標を高く設定している。</p>
<p>2 研究</p> <p>○計画期間中の実績及び改善等された事項の欄に、例えば行っている研究内容などの記載があれば健康科学部各学科の特色が分かりやすい。</p> <p>○科学研究費補助金の獲得状況はどう</p>	<p>●よく獲得しており、一般的な地方大学と</p>

<p>か。</p>	<p>比べ多い状況である。各学科内で科研費獲得経験のある教員が他の教員を指導している。</p> <p>新しく研究者になった人が対象の科研費があるが、これについても周知し、今年度春に着任した教員が2名獲得している。</p> <p>公文学長は科研費の審査員の経験があるため、科研費を獲得するためのテクニックや精神的な部分などを指導している。</p>
<p>3 学生の確保及び支援</p> <p>○高校訪問とは具体的にどのようなことを行っているのか。また、高校側の誰と話をしているのか。</p> <p>○障がいのある学生への生活支援に関する策はあるか。</p>	<p>●高校の進路担当と話をしている。内容としては入試情報を伝えている。また訪問する高校から本学へ進学した学生や本学を卒業後出身地近くに就職した学生の状況を伝えている。高校との面識や本学及び学生・卒業生の状況を伝えている。</p> <p>●入試の際の支援はしっかり行っている。入学後は保健管理センターで支援策を作っている。組織的には大枠でしか定めていないが、個々の事案については対象者と共に作っている。</p> <p>●本学は実習がある学科であるため、身体ということではなく心の障害がある学生への対応が主だ。例えば教員との雑談中に支援が必要なことを認識し、保健委員会や学生部などに相談している。個々の状況に合った対応ができています。</p>
<p>II. 社会貢献に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>○公開講座は共催事業があるのか。</p> <p>○参加者が230人の年があるが原因は何か。</p>	<p>●以前は岡山県との共催事業があったが、今は単独で行っている。</p> <p>●参加者が多くなるかどうかは公開講座の内容による。何か突出したものがあつたのだろう。</p>

<p>Ⅲ．業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>○教員への報酬は他大学と比べて十分か。魅力的な金額となっているか。</p> <p>○委員会組織改編の狙いは何か。成果はあったか。</p> <p>○教員業績評価作業チームを立ち上げているが、動きは良くなってきているか。</p>	<p>●教員の報酬は新見市職員の給与に即しており、他団体に比べ低い。このため教員には我慢いただいている状況だ。しかし、週一回の研修日の確保や高速道路通勤手当などの制度改善で対処している。</p> <p>●以前は委員会組織が多く、それへの出席のために教員の忙殺されていた。また学長から一般教員への意思疎通が寸断されている委員会もあった。このため組織を改編し、トップダウン、ボトムアップがスムーズにできるようにし、学長との意思疎通がしやすくなり動きやすくなった。</p> <p>●各委員会に事務職員が委員として入ることにより、学長の考えに事務方として動くことができるようになった。教授会を中心とした運営体制から、事務職員が入ることにより、市民の声が届く運営体制になりつつある。</p> <p>●岡山大学で教員評価を行っていたトップの教員が今年度4月から本学に着任している。昨年度までは計画段階だったが、今年度から急激に本格的に動いている。</p>
<p>Ⅳ・財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>○プロパー職員の業種は何か。また、給与は市に準じているのか。</p> <p>○経費の抑制に関し、各センター職員の配置を行ったとあるが、コスト削減など経費にどのようなメリットがあったのか。</p>	<p>●職種は保健師だ。給与は市に準じている。</p> <p>●各センター職員の多くは教員だが、授業のための業務の他にセンターの業務を行っていた。ここに事務職員が入ることにより教員の業務量が減り、事務処理がスムーズになり改善されている。</p>

<p>○ 時間外業務を行っていた人の業務を、定時に帰っていた人に割り振ったということか。</p> <p>V. 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>○ 自己点検について改善課題を公表しているのか。もしくは改善策という形で公表しているのか。</p> <p>○ 情報公開及び情報発信について大学は自己評定を3点としているが、4点でも良いと考える。中期計画に対し3点をつけているという認識でよいか。</p> <p>○ 学報「まんさく」について。また、各地区への回覧文書に含めてもよいのではないか。市民の目に触れるようにした方が良い。</p> <p>VI. その他の業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置</p> <p>○ 危機管理、安全管理に関し、Jアラートを受信した際の学生・教職員への伝達方法はどうなっているか。</p> <p>○ 施設の活用について、評価ができる内容の明記を求める。</p> <p>VII. 短期借入金の限度額</p> <p>○ 借入金がなかったということだが、この項目に評価は必要か。</p>	<p>● 各センターの窓口を一本化することにより、対応が早くなり効率化でき、目標に早くたどり着けるようになった。このため経費の抑制が図られた。</p> <p>● 7年ごとに認証評価を行っているが、改善点が評価機関から伝えられている。</p> <p>◎ この改善点及び改善措置を大学は一般に公表している。</p> <p>● 大学ホームページへのアクセス数が増加したのは今年度に入ってからだ。また、期間中は一貫して自己評定を3点としてきたので今回も3点をつけた。</p> <p>● もともと「まんさく」は同窓会誌だったものを広報誌として扱うようにした。今後は地域にもっと広めたいと考えている。</p> <p>◎ 市報の中に毎回大学のページを設け、記事を掲載してもいいかもしれない。</p> <p>● 全館放送や Teams による伝達方法がある。</p> <p>● 評価委員会にお任せする。</p>
--	---

## XI. 剰余金の使途

○剰余金を使用していないが、事業をするほどのことはなかったということか。

○一定額使用した実績があり、新棟のためにいくらかを残したということであれば3点でもよい。

## XII. 新見市地方独立行政法人法施行規則で定める事項

○施設及び設備に関する計画について、大項目VIの1では自己評定が4点でこの項目では3点をつけている。達成できなかったことがあるのか。

○学生のための施設設備について、時代に即した施設設備とするのは大変か。

[全体的な事柄について質疑応答]

●教員の質について、採用の際には学内で

●定員以上の学生の確保ができればその分収入が多くなり大学の改善に充てることができるが、学生の確保が不十分となる可能性もある。大学は基金を持つことができないことということもあり、この剰余金を担保と考えている。

◎本来は剰余金を使用して評価が3点もしくは4点になる。使用していなければなぜ使用しなかったのかということになる。新棟建設に関する費用が不足した時のために使用することを抑えたということだが、本来は大学の改善に繋がることに使用するのが良い。

●学生のための環境の改善のために使用するよう改善を図っていききたい。

●VIの1は施設・設備の活用までを含めた評価で、こちらは整備計画であり、計画の内容がもともと異なるため、この評定としている。

●W i - F i 環境が整備されたことにより遠隔授業にスムーズに移行することができた。これまで1クラス5人しかインターネットに接続できなかったが、これでクラス全員が接続できるようになった。また、新棟にベンチ状の椅子を設置することとしている。この形状の椅子の方が学生は勉強しやすい。

<p>委員会を立ち上げ、論文や教育の経験などを審査している。健康保育学科、地域福祉学科の教員は文部科学省の審査をクリアできるレベルの質の高い教員を採用している。</p> <p>○財務諸表 5 ページの利益処分案について、Ⅱ 当期積立金振替額は必要な記載か。</p> <p>○学生の G P A はどの程度か。</p> <p>○3 年生から G P A を挙げるのは難しい。1, 2 年生の時から成績が下位の学生へ対応するように。</p> <p>第 2 期中期目標期間に係る事業報告の説明終了（大学側退席）。引き続き年度評価に入る。</p> <p>〔項目別評価評定〕</p> <p>I 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育</p> <p>1) 教育の内容</p> <p>○幼児教育学科の実績について、年度</p>	<p>◎積立金については、令和元年度が中期目標期間の最終年度であるため、中期目標期間中の剰余金について第 3 期にどれくらい繰り越すか決める必要がある。しかしこれはまだ決定されていない事項だ。繰越承認願が提出されるが、この利益処分（案）という書類がここにあるべきかは疑問だ。</p> <p>●この書類は公認会計士が作成したものであり、中期計画の 1 4 ページに対応するものだ。状況をわかりやすくするためにあえて作成している。</p> <p>●3. 5 程度が平均だ。また、成績の下位 1 5 ~ 2 0 % の学生の G P A は 2. 0 以下だ。学科ごとに学生への評価にずれがあるため平均点が異なるが、今後は学科が異なっても、学生への評価は均一になるよう努力する。</p> <p>●早い段階から注目し指導していく。</p> <p><b>大項目総評価を 4 とした</b></p> <p><b>評価項目評定を 4 とした</b></p>
---	---

<p>計画内容と年度計画実績がほとんど同じ言葉で書かれているため、分かりづらい。具体的な事を記載する必要がある。</p> <p>2) 教育の実施体制</p> <p>○中山間地の教育のリーダー、モデル大学という立場に立ってもらい、教員にこのような中山間地であってもこれだけの教育ができるということに自信を持ってもらいたい。</p> <p>○新しいことに取り組んではいるが、過渡期のため課題も見える。これから新教務システムの活用で成果を出してほしい。</p>	<p>評価項目評定を3とした</p>
<p>2 研究</p> <p>1) 研究の内容</p> <p>○「まんさく」が市民の目に触れる機会を増やすべき。</p>	<p>評価項目評定を3とした</p>
<p>2) 研究の実施体制</p> <p>○研究の質の向上を目指している。成果は今後出てくるのではと感じる。</p>	<p>評価項目評定を3とした</p>
<p>3 学生の確保及び支援</p> <p>1) 学生の確保</p> <p>○入学辞退率が低下しているなど、具体的な数字の実績がある。</p> <p>○新見市出身の学生が少ない。新見公立大学は素晴らしい大学であるため、市民へのアピールが必要だ。</p>	<p>評価項目評定を4とした</p>
<p>2) 学生への支援</p> <p>○学生への細やかな支援ができており、これが就職率や資格取得率につながっている。</p> <p>○スケールメリットを活かした教育ができています。今後も細やかな教育を</p>	<p>評価項目評定を4とした</p>



続けていくことを期待する。	
---------------	--

(2) 次回開催日について

令和2年7月17日(金)9時30分から、市役所本庁舎3階第4委員会室で開催することとした。